

令和8年3月11日(水)

校長室より(160)



こんにちは。

給食の時間きゅうしょくに、「3月11日」についての話を放送でしました。

三咲っ子のみなさん、こんにちは。

今日、3月11日は「東日本大震災」という、とても大きな地震が日本であった日です。

今日、校庭に出た人で日の丸の旗が揚がっていたことに気づいた人はいますか？でも今日は、途中までしか揚げていません。これは、「半旗」といって、亡くなった方々へ「安らかに眠ってください」という祈りを込めた、特別な揚げ方です。帰りに校庭を通る人は見てみてください。



今から15年前、2011年3月11日の午後2時46分。その時、私は、この三咲小学校の6年1組の担任をしていました。今の4年4組の教室で、通知表「あゆみ」を書いていました。あの日も、今日と同じ短縮4校時日課でした。ほとんどの三咲っ子は下校していましたが、校内には吹奏楽部が残って練習をしていました。そこに、突然、経験したことのない激しい揺れが襲ったのです。しばらくの間、揺れがおさまりませんでした。その後も、余震という揺れに何回も襲われました。その都度、校庭に避難しました。

三咲小学校も、大きな被害を受けました。1棟の廊下の壁や、校舎と校舎を繋ぐ渡り廊下には大きなひびが入りました。図書室の本は棚から崩れ落ちました。パソコンが並ん

でいたパソコン室のパソコンも机から落ちてしまいました。私は、学校が壊れてしまうのではないかと恐ろしい思いをしました。

吹奏楽部のみんなは、おうちの方のお迎えを待っていたのですが、電車が止まってしまう、道路も大渋滞になってしまったので、不安な気持ちでお迎えを何時間も待ちました。

夜になると、今、解体工事をしている学校の前にある団地の方々が体育館に避難してきました。男の先生たちで、水を配ったり毛布を出したりして、そのまま学校に泊まって、みなさんの安全を見守りました。

この東日本大震災では、約15,000人も尊い命が失われました。三咲小学校20校分くらいの、とってもたくさんの命です。

私が、三咲っ子のみんなに伝えたいことは、今、目の前にある給食を美味しく食べられること、友達と笑い合えること、これは、当たり前ではなく、「とても幸せなこと。」だということです。それを忘れないようにしてください。

今日の午後2時46分、多くの三咲っ子は、おうちにいたり、公園で遊んでいたりする時間だと思います。ぜひ、その時間に自分がいる場所で「黙禱」を捧げてください。「黙禱」とは、静かに目をつぶって、心の中でお祈りをすることです。

いつも言っていますが、自分の命は自分で守る。そして周りの人と助け合えるようになってください。

ひがしにほんだいしんさい ねん た ゆくえふめい ひなん
東日本大震災は、15年経った今でも、行方不明のままだったり、避難
せいかつ
生活をしたりしている方々がたくさんいます。そういう人のことを考える日にし
てほしいと思います。